

火災予防及び防災管理上の点検等	自主点検	防火・防災管理者（防火・防災管理者が指名する者）は、日常、下表の点検対象について自主点検を実施する。また、自主点検記録表（別表1）にその結果を記録する。 防火・防災管理者は、不備欠陥等については改修計画を樹立し、早期に改修する。			
		点検対象	避難通路		火を使用する設備・器具
			防火区画		電気を使用する設備・器具
消防用設備等			地震による被害の軽減 他		
法定点検	<input type="checkbox"/> 建物所有者等が点検業者に委託し実施する。※点検時、防火・防災管理者は要立会 <input type="checkbox"/> 消防用設備等の法定点検は、下表に示す点検業者に委託して、実施計画に基づき実施 1 防火対象物の法定点検は、年1回実施 2 防災管理の法定点検は、年1回実施				
	委託点検業者（複数ある場合は別紙に記載）			実施計画	
	会社名			機器点検	総合点検
	所在地			月	月
	連絡先				
教育・訓練	防災教育	防火・防災管理者は、従業員、新入社員、パート等に対して防災教育を実施する。 なお、防災教育の内容は概ね次の各号に掲げるものとする。 1 消防計画について 2 従業員等が守るべき事項について 3 火災発生時及び地震発生時の対応について 4 その他火災予防及び防災管理上必要な事項について			
		時期	<input type="checkbox"/> 入社、採用、配属時 <input type="checkbox"/> _____月 <input type="checkbox"/> 消防訓練時		
訓練	訓練	防火・防災管理者は、消火訓練、避難訓練を年2回以上実施する。 <input type="checkbox"/> 訓練の実施前にあらかじめ消防署に通報することとする。 <input type="checkbox"/> 通報訓練を実施することとする。 <input type="checkbox"/> 年1回は大規模地震を想定した内容とする。 <input type="checkbox"/> 建物全体で実施する訓練にも参加することとする。			
		実施時期	1回目	2回目	3回目
		月	月	月	
その他	自衛消防組織	1 自衛消防組織の地区隊の編成と装備を別表2のとおり定める。 2 通報連絡、避難誘導などの被害軽減のための活動要領を別表2のとおり定める。 3 防災管理者または統括管理者は、要員に対して教育及び訓練をすること。 4 自衛消防組織に関する協議会の設置・運営をすること。※共同設置の場合に限る。 <input type="checkbox"/> 統括管理者は告示班長の自衛消防業務講習の教育（受講状況等）を別紙3のとおり管理すること。			
		委託	<input type="checkbox"/> 防火・防災管理業務の一部を別表4のとおり委託する。 委託を受けて防火・防災管理業務に従事するものは、管理権原者、防火・防災管理者、自衛消防組織の統括管理者の指示、命令を受けて適正に業務を実施するものとする。		
	その他		<input type="checkbox"/> 管理権原者は、統括防火・防災管理者を中心に他の管理権原者と協力し、ビル全体の防火防災の安全性向上に努める。 <input type="checkbox"/> 防火防災管理者は、共同防火・防災管理協議事項及び全体についての消防計画に定められている事項について、統括防火・防災管理者に報告する。		

震災対策 (防災管理)		南海トラフ地震等大規模地震（以下「大規模地震」という。）等の地震が発生した場合における防災に関する業務を行う者は、別表2に規定する自衛消防組織とする。	
	組織	通報連絡班	1 テレビ、ラジオ等を活用し、地震に起因する必要な情報の収集を行うこと。特に津波警報等、早急な対応が必要となる情報の把握に努めること。 2 放送設備等を活用し、在館者に対して必要な情報を適宜知らせるとともに、適切な指示を行うこと。 3 あらかじめ幾つかの状況を想定し、それぞれの場合に応じた在館者に対する情報伝達のための例文、手段等を定めておくこと。 なお、通常の伝達手段が地震等の影響により寸断されることを考慮した、伝達手段の確保に留意すること。
		避難誘導班	1 自衛消防組織の統括管理者から避難誘導開始の指示を受けたときは、顧客等を避難誘導すること。 2 避難誘導の際には、携帯用拡声器等を用いて避難の方法や方向を指示し、混乱の発生防止に努めること。
	訓練	訓練は年1回以上行うものとし、以下の訓練を実施するものとする。 1 情報収集・伝達に関する訓練 2 津波からの避難に関する訓練 3 その他前各号を統合した総合防災訓練	
			一時避難場所
	教育	1 大規模地震に伴い発生すると予想される地震動及び津波に関する知識 2 地震及び津波に関する一般的な知識 3 大規模地震が発生した場合に具体的にとるべき行動に関する知識 4 大規模地震が発生した場合に従業員等が果たすべき役割 5 在館者に対する日常的な広報は、次によるものとする。 (1) 大規模地震が発生した場合に出火防止、在館者同士が協力して行う救助活動、自動車運行の自粛等、防災上とるべき行動に関する知識 (2) 正確な情報入手の方法 (3) 防災関係機関が講ずる災害応急対策等の内容 (4) 各地域における避難対象地域、急傾斜地崩壊危険箇所等に関する知識 (5) 各地域における避難場所及び避難経路に関する知識	
	センター防災	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	防災センターにおいて防火対象物の消防用設備等の監視、操作等に従事する者は、自衛消防業務修了者等をもって充てること。
地震被害軽減	1 建物にいる人の被害を想定し、対策をするものとする。 2 家具等の転倒や移動の防止、物品の落下防止措置をするものとする。 3 地震発生時における通報連絡、避難誘導、救出、救護その他の応急措置に関しては、自衛消防組織の統括管理者を中心に対応する。 4 資機材の点検、整備 5 その他被害の軽減に関して必要な事項		

●附則
この計画は、令和 年 月 日から施行する。

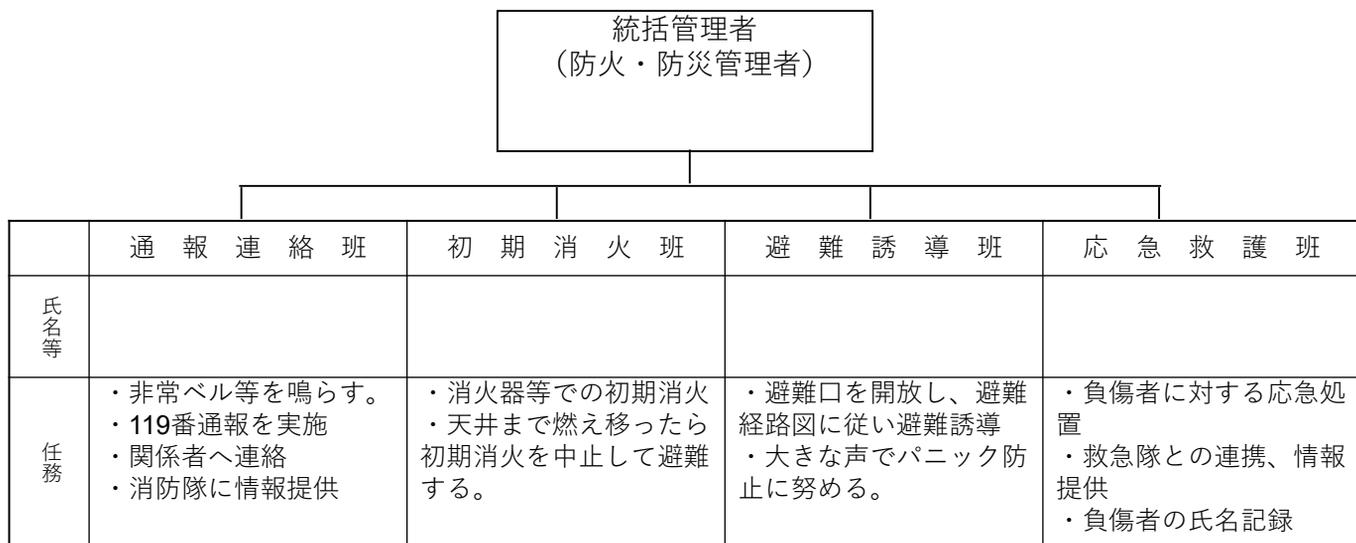
- 添付書類
 別表1 自主点検記録表
 別表2 自衛消防組織の組織及び任務分担
 別表3 自衛消防組織の告示班長の教育管理
 別表4 防火管理業務の委託状況等(有・無)
 別 図 各階平面図(※各階平面図に消防用設備等設置場所、避難経路を明記)

別表1 自主点検記録表

検査日	検査項目	自主点検項目																備考			
		避難障害			消防用設備等				火気・電気				その他								
		<input type="checkbox"/>																			
		避難口(物品等)	避難通路(物品等)	防火戸・防火シャッター(物品等による閉鎖障害)	消火器の位置	消火設備の操作障害	誘導灯の視認障害等	警報設備の操作障害	散水障害	スプリンクラーヘッドの	ちゅう房の清掃	可燃物との接触	発熱を伴う器具等と	電気器具の配線(老化・損傷・ほこり)	電気使用の確認	終業時の火気・	危険物の数量の確認	危険物の周囲の維持管理	家具の転倒・落下防止等	その他	
1	状況																				
2	状況																				
3	状況																				
4	状況																				
5	状況																				
6	状況																				
7	状況																				
8	状況																				
9	状況																				
10	状況																				
11	状況																				
12	状況																				
13	状況																				
14	状況																				
15	状況																				
16	状況																				
17	状況																				
18	状況																				
19	状況																				
20	状況																				
21	状況																				
22	状況																				
23	状況																				
24	状況																				
25	状況																				
26	状況																				
27	状況																				
28	状況																				
29	状況																				
30	状況																				
31	状況																				

※良の場合には○、不備のある場合は×、是正した場合は⊗ を付けます。 防火・防災管理者確認 _____

別表 2 自衛消防組織の編成及び任務分担



※自衛消防組織の具体的な活動要領や各班の編成、地区隊については、自衛消防組織設置（変更）届出の添付のとおりとする。

自衛消防隊用の装備	個人用の装備
<input type="checkbox"/> 消火用機器資材 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> 破壊用器具 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> 拡声用機器 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> 救助・救急機器資材 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> 連絡用機器 <input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> 防火衣（作業衣） <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> 携帯用照明器具 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> 警笛 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> 防火靴 <input type="checkbox"/> ()

別表 3 自衛消防組織の告示班長の教育管理（本部隊要員を選出している場合）

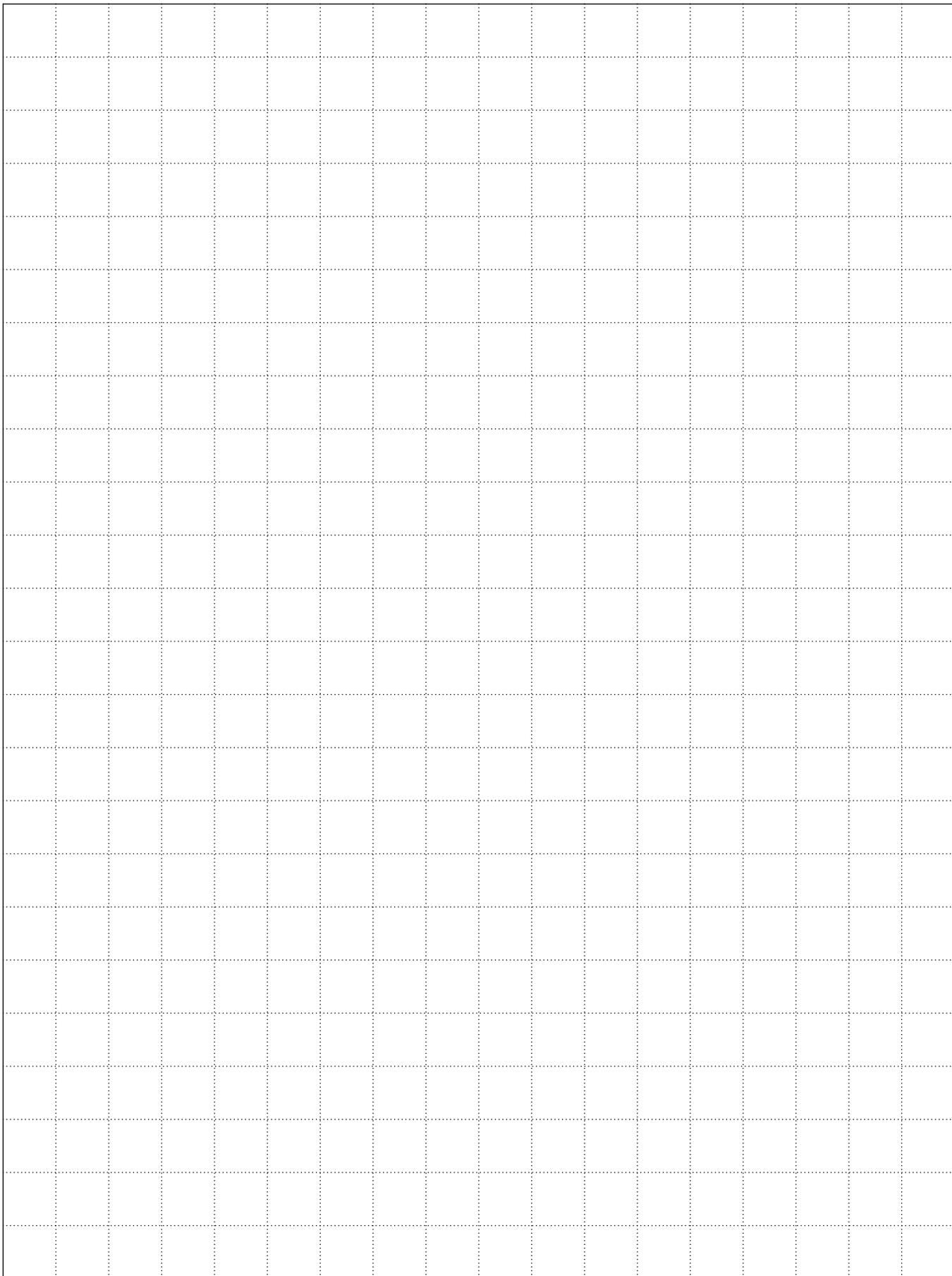
	氏 名 等	初 回 受 講 日	再 講 習 受 講 日
通報連絡班長			
初期消火班長			
避難誘導班長			
応急救護班長			
() 班長			
() 班長			
() 班長			

別表4 防火・防災管理業務の委託状況表

受託者の氏名 及び住所等		氏名（名称）	
		住所（所在地）	
（法人にあっては 名称及び主たる 事務所の所在地）		担当事務所 所在地	TEL
		※登録番号	
受託者の行う防火・ 防災管理業務の範囲及び方法	常駐方式	範囲	<input type="checkbox"/> 火気使用箇所の点検等監視業務 <input type="checkbox"/> 避難または防火上必要な構造及び設備の維持管理 <input type="checkbox"/> 火災が発生した場合の初動措置 <input type="checkbox"/> 初期消火 <input type="checkbox"/> 通報連絡 <input type="checkbox"/> 避難誘導 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 周囲の可燃物の整理 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		方法	常駐場所 委託する時間帯
	巡回方式	範囲	<input type="checkbox"/> 巡回による火気使用箇所の点検等監視業務 <input type="checkbox"/> 火災が発生した場合の初動措置 <input type="checkbox"/> 初期消火 <input type="checkbox"/> 通報連絡 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
		方法	巡回回数 委託する時間帯
	遠隔移報方式	範囲	<input type="checkbox"/> 火災異常の遠隔監視及び現場確認業務 <input type="checkbox"/> 火災が発生した場合の初動措置 <input type="checkbox"/> 初期消火 <input type="checkbox"/> 通報連絡 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
		方法	現場確認要員の 待機場所 委託する時間帯
		常駐人員	人
		巡回人員	人
		到着 所要時間	分

※ 登録番号とは、即時通報を行う警備会社として、横浜市消防局に登録されている番号を言い、登録されている場合は、該当する番号を記入します。未登録の場合は記入不要です。

別図 各階平面図 (防火・防災管理の範囲・消防用設備等の設置場所・避難経路を記す。)



凡例



消火器



避難経路



誘導灯